

ひがしっ子

No.7 平成 26 年 9 月 3 日発行 文責 学校長 小笠原哲司

2学期開始、学校モードの生活に

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。夏休み中の事故や問題行動などの連絡もなく、無事に2学期を迎えることができました。

この時期は、夏休み中の生活から学校生活へのスイッチの切り替えが大切です。ご家庭でのご協力もお願いします。

1日(月)の始業式の日には読売新聞の取材があり、翌日の新聞に掲載されました。ご紹介します。

教室に笑顔と歓声戻る 小中学始業式

県内のほとんどの公立小・中学校で1日、2学期の始業式が行われ、子どもたちは久しぶりに会う友達と夏休みの思い出を話すなどしてはしゃいでいた。

高知市潮新町の市立潮江東小では、子どもたちが教室で自由研究や図画工作など夏休みの宿題を提出した後、元気に手を挙げて出席を取った。体育館で開かれた始業式では児童約440人を前に、小笠原哲司校長が

「生活リズムを切り替え、2学期も頑張りましょう」とあいさつした。

式の後、1年1組の教室では、友達同士で「家族で動物園に行った」「プールや川で遊んだよ」などと話していた。大掃除や2学期最初の授業もあった。

1年の野本京楓さん(6)は、「おばあちゃんの家に行ってカレーを食べたり、パズルで遊んだりして、とても楽しかった」と笑顔で話した。



夏休みの宿題を提出する児童ら(高知市立潮江東小で)

給食費の集金について

9月分の給食費の集金は下のとおりです。引き落としができるようご準備をお願いいたします。

9月給食費振替日 9月22日(月)

うしお	19回	4,750円
1~5年	19回	4,750円
6年	16回	4,000円

夏休み中の子どもたちの活躍

夏休み中も、さまざまな行事が行われました。子どもたちの活躍から主なものをご紹介します。

(1)学童水泳記録会は中止

8月4日に開催される予定でした高知市学童水泳記録会は、残念ながら天候のために中止となりました。夏休み中も本校のプールで毎日のように練習を行ってきた4・5・6年生の子どもたちを始業式の後で紹介し、その努力を讃えて、みんなで拍手を送りました。

(2)登校日は、平和学習

8月6日(水)は、登校日でした。この日は、学年ごとに、子どもたちの発達段階に踏まえ、戦争や空襲などをテーマとしたビデオ教材や絵本などを使って平和学習を行いました。



(3)朗読コンクールに出場

8月21日(木)に行われた高知県立文学館主催の児童生徒文学作品朗読コンクール(地区審査)に、校内予選で選ばれた下記の子どもたちが参加しました。夏休み中もしっかり練習を積み、当日は堂々と朗読を発表してくれました。

- 4年 長岡 祐樹さん
- 5年 間城 咲羅さん・黄 彩理さん
- 6年 三宮 由菜さん・黄 珠音さん

教職員も研鑽に励みました

(1)全市・潮江地区の研修会

- ① 高知県夏期国語教育学習会(本校5年2組が公開授業)、高知県作文教育研究大会(本校6年2組が公開授業)、高知市夏季教職員研修会などの全市的な研修会に参加しました。
- ② 8月6日(水)には、潮江校区小中連携研修会(潮江地区の4校で)が開催され、市教委の担当者による保幼小中連携に関する講話、横浜市立岸谷小学校の齊藤一弥校長を講師に迎えての学力向上に関する講演などをお聴きしました。

(2)本校独自の研修

- ① 学力標準調査の結果を分析し、今後の指導や支援のあり方を検討。
- ② 外部講師を迎え、「いじめ」防止や、学級会活動に関する研修。
- ③ 曾我部スクール・カウンセラーを講師に迎え、児童理解や支援のあり方に関する研修。



学校評価項目について

7月17日(木)に開催した「開かれた学校づくり推進委員会」では、本年度の学校評価項目について学校側から説明し、委員の皆さんから質問やご意見をいただきました。

これらの項目について評価をするにあたり、今年も11月下旬に児童をはじめ保護者・地域の方々に「学校評価アンケート」のご協力をいただき、今後の学校運営に生かしてまいりたいと考えています。

平成26年度 学校評価項目

人権教育 平和教育 道徳教育	「思いやりのあるたくましい子」の育成をめざして、児童の善行を褒め、改善されたことを認め、いけないことは毅然と指導する。
体力の向上 食育の推進	運動のできる環境整備を行う。また、活動量を高める運動方法を取り入れた授業の改善に努める。
生徒指導	学校内外での生活ルールの徹底をめざした指導を継続し、落ち着いた生活習慣を確立する。
学力向上	個々の児童に思考の場があり、相互のかかわりや、主体的な活動が展開できる授業づくりについて研究を進める。また個々の学習量の向上を目指した取り組みを行い、学力調査等における「1評定」の児童の減少をめざす。
不登校対応	毎朝の登校確認と、来ていない児童への働きかけを継続する。また、校内支援会を定期的で開催し、児童と保護者に寄り添った支援を行う。
特別な ニーズ	関係機関、スクールカウンセラー等とも連携しながら、校内支援会を定期的で開催し、学級担任だけでなく学校体制の中で支援を行う。
キャリア教育	キャリア教育の年間指導計画に基づいた取り組みを進め、かかわり合う力、自ら学ぼうとする力の育成を図る。
防災教育	緊急事態発生時の予防的な取り組みを推進する。防災教育カリキュラムに則った学習を行うとともに、想定を変えながら避難訓練を実施する。
地域連携	PTA会合や開かれた学校づくり推進委員会で児童の状況を報告し、学校・保護者・地域の連携を強化する。
教職員の 資質・能力	効率的・協同的な研修体制を確立する。外部講師を招聘するとともに、職場内で学び合える体制を整える。教職員アンケートの項目「研修体制の確立」において90%以上の肯定評価をめざす。
校種間連携	潮江地区4校が学力向上・防災教育・人権教育をテーマとした合同の研修会を開催する。また、校区の保育園との情報交換を密に行う。
学校活性化	学校外の人材や出前授業等を活用して、体験的な教育活動を積極的に取り入れる。

